

物件説明書

下記の三原市財務部財産管理課が所有する普通財産について、次のとおり説明します。この説明書の内容は重要ですから、十分に理解し、内容を承諾したうえで不動産にかかる売買契約締結を行ってください。

なお、宅地建物取引業法(昭和27年6月10日法律第176号)の適用は受けないため、この説明書は同法第35条に規定する重要事項説明書ではないことを申し添えます。

1 【取引態様】

| | |
|------|--------------|
| 取引態様 | 売買の売主 |
| 予定価格 | 80,600,000 円 |

2 【不動産の表示等】

(1)土地

売却する土地

| | |
|-------|--------------------------------|
| 所在 | 三原市宮沖五丁目 |
| 地番 | 679番2 |
| 地目 | 宅地(現況:宅地) |
| 筆数 | 1筆 |
| 面積 | 登記簿面積:3,415.52㎡ 実測面積:3,415.52㎡ |
| 形状 | 不整形地(準角地)(間口 約56m、奥行 約64m) |
| 公図 | 別紙のとおり |
| 地積測量図 | 別紙のとおり |
| 登記 | 別紙のとおり |

(2)解体撤去の対象となる建物 (2(2)以降、総称して「解体条件付きの建物等」という。)

解体撤去の対象となる建物1 ※建物は売却物件ではありません

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 | 三原市宮沖五丁目 679番2 |
| 種類 | 建物(保育所) |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 |
| 建築年数 | 昭和54年6月1日 |
| 床面積 | 976.37㎡ |
| 解体条件 | 所有権移転の日から1年以内に買受人の負担及び責務で建物を解体すること。なお、解体撤去の対象は、解体撤去の対象となる建物とそれに付随する設備、備品、工作物、浄化槽、給排水設備、植栽、建物基礎杭、その他の埋設物並びに残置物の一切を含める。 |
| 登記 | 未登記 |
| その他 | 売主の調査では、1階解放廊下の配管エルボに微量のアスベストの使用が認められるが、その他の箇所のアスベストの使用の有無は不明。 |

解体撤去の対象となる建物2 ※建物は売却物件ではありません。

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 | 三原市宮沖五丁目 679番2 |
| 種類 | 建物(倉庫・便所) |
| 構造 | コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| 建築年数 | 昭和54年6月1日 |
| 床面積 | 13.60㎡(台帳数量) |
| 解体条件 | 所有権移転の日から1年以内に買受人の負担及び責務で建物を解体すること。なお、解体撤去の対象は、解体撤去の対象となる建物とそれに付随する設備、備品、工作物、浄化槽、給排水設備、植栽、建物基礎杭、その他の埋設物並びに残置物の一切を含める。 |
| 登記 | 未登記 |
| その他 | アスベストの使用の有無は不明。 |

解体撤去の対象となる建物3 ※建物は売却物件ではありません。

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 | 三原市宮沖五丁目 679 番 2 |
| 種類 | 建物（事務所） |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 |
| 建築年数 | 昭和 54 年 7 月 1 日 |
| 床面積 | 572.75 m ² (台帳数量) |
| 解体条件 | 所有権移転の日から 1 年以内に買受人の負担及び責務で建物を解体すること。なお、解体撤去の対象は、解体撤去の対象となる建物とそれに付随する設備、備品、工作物、浄化槽、給排水設備、植栽、建物基礎杭、その他の埋設物並びに残置物の一切を含める。 |
| 登記 | 未登記 |
| その他 | 売主の調査では、ボイラー室の煙道に微量のアスベストの使用が認められるが、その他の箇所のアスベストの使用有無は不明。 |

3 【都市計画法・建築基準法等の法令に基づく制限の概要】

| | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 区域区分 | 市街化区域内（都市計画区域内） |
| 用途地域 | 第一種住居地域 |
| 特別用途地区 | 指定なし |
| その他の地域地区等 | 防火指定等なし 22 条指定区域 |
| 建ぺい率の制限 | 60% ←※緩和できるかどうかは三原市建築指導課と要協議です。 |
| 容積率の制限 | 200% |
| 建築物の高さの制限 | 道路斜線制限 <input checked="" type="checkbox"/> ・無 隣地斜線制限 <input checked="" type="checkbox"/> ・無 北側斜線制限 (有・ <input checked="" type="checkbox"/>) 絶対高さ制限 (有・ <input checked="" type="checkbox"/>) 日影制限 <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ※高さが 10m を超える場合 |
| その他の建築制限 | 外壁後退距離制限：無 ※民法第 234 条には、「建物を築造するには、境界線から 50 cm 以上の距離を保たなければならない。」と規定されています。 敷地面積の制限（最低限度）：無 |

都市計画法

| | |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 29 条 1 項、2 項（開発行為の許可） | 該当あり 対象地は土地面積が 1,000 m ² 以上あるため、建築物の建築又は特定工作物の建設を目的とした土地の区画形質の変更が生じる場合は、開発許可の要否について事前に相談してください。 【三原市建築指導課 HP】 |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

建築基準法

| | |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------|
| 43 条（敷地等の道路等に接する長さ等の制限） | 該当あり 西側に突き当たる道路は、建築基準法第 42 条第 2 項道路です。 |
| 44 条 1 項（道路内の建築制限） | 該当あり |
| 48 条 1 項から 13 項まで（用途地域内の建築物及び工作物の種類の制限） | 該当あり 第一種住居地域に該当します。 |
| 52 条 1 項から 14 項まで（容積率制限） | 該当あり |
| 53 条 1 項から 6 項まで（建ぺい率制限） | 該当あり |
| 56 条（建築物の各部分の高さの制限） | 該当あり |
| 56 条の 2（日影による中高層建築物の高さの制限） | 該当あり ※高さが 10 メートルを超えると日影の適用あり。 |

6 【その他の法令に基づく制限】

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>景観法 16条1項、2項(景観計画区域内における行為の届出) 22条1項(景観重要建造物の現状変更の規制) 31条1項(景観重要樹木の現状変更の規制) 41条(管理協定の効力) 63条1項(景観地区内の建築計画の認定) 72条1項(景観地区内の工作物の形態意匠等の制限) 73条1項(景観地区内の開発行為等の制限) 75条1項、2項(準景観地区内における行為の規制) 76条1項(地区計画等の区域内における建築物等の形態意匠の制限) 86条(景観協定の効力) 90条4項(一の所有者による景観協定の設定)</p> | <p>該当あり 対象地は、大規模行為届出対象地域に指定されています。 「高さ13mまたは建築面積が1000㎡を超える建築物・工作物を新築される場合は、届出が必要」です。 【三原市都市開発課 HP】</p> |
| <p>宅地造成等規制法 8条1項(宅地造成工事規制区域内における宅地造成工事の制限) 12条1項(8条1項の許可に係る宅地造成に関する工事の計画の変更の許可等)</p> | <p>該当なし。 対象地について、令和5年8月現在は宅地造成工事規制区域外ですが、令和5年9月28日に盛土規制法が運用開始されることに伴い、許可が必要な区域及び規模が拡大するため、宅地造成等を行う場合は許可の要否について事前に建築指導課まで相談してください。 【三原市建築指導課 HP】</p> |
| <p>下水道法</p> | <p>該当あり 対象地内の公共柵は、市の管理物であるため、解体撤去前に三原市下水道整備課と事前協議する必要があります。 なお、対象地内の下水道加入金は支払い済みです。 【三原市下水道整備課 HP】</p> |
| <p>文化財保護法 43条1項(重要文化財の現状変更等の制限) 45条1項(重要文化財の付近の地域における一定の行為の制限) 46条1項、5項(重要文化財等の譲渡の制限) 125条1項(史跡名勝天然記念物の現状変更等の制限及び現状回復の命令) 128条1項(史跡名勝天然記念物の保有のための環境保全) 143条1項(伝統的建造物群保存地区の決定及びその保護) 182条2項(地方公共団体による指定及び保存等のために必要な措置の定め)</p> | <p>該当あり 市で開発行為等を行う場合、その場所が周知の埋蔵文化財包蔵地に該当するかどうかを確認する必要がありますので、事前に文化課と協議してください。 【三原市文化課 HP】</p> |
| <p>国土利用計画法 14条1項(規制区域に所在する土地に関する売買等の契約の制限) 23条1項(規制区域以外の区域における土地売買等の契約の事後届出) 27条の4第1項、3項(注視区域及び監視区域における土地売買等の契約の制限)</p> | <p>該当なし 当事者の一方が地方公共団体であるため、届出の適用除外となります。</p> |
| <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律 15条の19第1項から3項まで (指定区域内における土地の形質の変更の制限)</p> | <p>建物等の解体・撤去に伴い発生する産業廃棄物については、関係法令を遵守し、適切に処理してください。</p> |
| <p>土壌汚染対策法</p> | <p>不明。</p> |

| | |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 9条1項から3項まで(指定区域内の土地の形質の変更の制限) | 土壌汚染の調査を実施していません。 売買契約締結後に、土壌汚染調査を実施する必要性が生じた場合は、関係法令を遵守して適切に処理してください。 |
| 広島県建築基準法施行条例 | 建築する建物の用途に併せて確認を行ってください。 |
| ふるさと広島の景観の保全と創造に関する条例(県景観条例) | 対象地は、大規模行為届出対象地域に指定されています。 【三原市都市開発課 HP】 |

4 【区域の指定】

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 造成宅地防災区域 | 区域外 |
| 土砂災害警戒区域 | 区域外 |
| 津波災害警戒区域 | 区域内 (三原市のハザードマップ参照) 【三原市危機管理課 HP】 |
| 洪水浸水想定区域 | 区域内 (三原市のハザードマップ参照) 【三原市危機管理課 HP】 |

5 【接面道路】

| | |
|---------|---------------------------------------------------|
| 公・私道の別 | 公道 |
| 幅員 | 9m |
| 公道道路 種類 | 建築基準法第42条第1項第1号 ※西側に突き当たる道路は、建築基準法第42条第2項道路です。 |
| 敷地の接道義務 | 原則として幅員4m以上の建築基準法に定める道路に2m以上接していなければならない。 |

6 【最寄りの公共交通機関・公共機関等】

| | | |
|--------|-------------|----------|
| 公共交通機関 | JR 山陽本線 三原駅 | 約 1,500m |
| | 宮沖五丁目バス停 | 約 200m |
| 公共機関 | 三原市立南小学校 | 約 800m |
| | 三原市立第三中学校 | 約 800m |
| | 三原市役所 | 約 700m |
| | 交番 (宮沖交番) | 約 5m |
| | 消防署 | 約 1,900m |
| | 三原皆実郵便局 | 約 900m |

7 【地勢・水道・電気・ガス等の供給施設並びに排水施設の整備状況】

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地勢 | 平坦 |
| 危険・嫌悪施設 | なし |
| 上水道 | 可 売却物件内には、口径「50mm管」と口径「40mm管」の2つの権利があります。所有権移転後、広島県水道広域連合企業団三原事務所と所有権移転の協議を行ってください。 |
| 下水道 | 可 ※下水道負担金は支払い済みです。 ※売却物件内に既設の公共枡は、三原市下水道整備課の管理物のため、建物の解体撤去前に、三原市下水道整備課と事前協議を行ってください。 |
| 電気 | 可 |
| 都市ガス | 引込可 |

各種供給処理施設(ガス、上水道、下水道、電気等)の利用にあたっては、各供給機関と十分協議してください。なお、利用にあたって必要な工事費等については、買受人の負担となります。

8 【建物の石綿(アスベスト)使用調査結果の記録に関する事項】

・本物件説明書2不動産の表示等(2)解体撤去の対象となる建物1(976.37㎡)は、1階解放廊下の配管エルボに使用が認められますが、該当建物のその他の箇所について、使用の有無は不明です。

・本物件説明書2不動産の表示等(2)解体撤去の対象となる建物3(572.75㎡)は、ボイラー室の煙道に使用が認められますが、該当建物のその他の箇所について、使用の有無は不明です。
上記に掲げるアスベストの使用箇所以外に、アスベスト(石綿)が含有されていることが判明した場合は、関係法令を遵守し、適切に処理してください。

9【建物の耐震診断に関する事項】

・解体条件付き建物等について、耐震診断を実施していません。なお、解体条件付きの建物等は、旧耐震基準の建物です。

10【地盤調査・地下埋設物の調査に関する事項】

・本物件説明書2不動産の表示等(1)土地に掲げた物件について、地盤調査を行っていません。
また、別紙の図面等に明記のない不測の地下埋設物について、その存否の調査を実施していません。

11【建物の劣化調査に関する事項】

・解体条件付きの建物等について、建物の劣化状況等は調査していません。

12【現状有姿の引き渡し】

物件は、現状有姿による引き渡しとなります。プロポーザルの申込希望者は、現地見学期間(令和5年10月4日~令和5年10月20日)に現地見学を行ってください。現地見学の詳細は、別紙のプロポーザル応募要領を確認し、申し込んでください。また、土地の利用制限や関連法規についても調査確認を行ってください。物件に関する不知や不明を理由として、異議を申し立てることはできません。

13【建物等の解体撤去条件】

- (1) 解体条件付きの建物等の解体及び撤去を行うにあたっては、建設業法に基づき、都道府県知事又は国土交通大臣から解体工業にかかる特定建設業の許可を受けた者が解体及び撤去を行ってください。
- (2) 売却する土地の所有権移転の日から1年以内に、買受人は解体条件付きの建物等を解体及び撤去する義務を負います。ただし、やむを得ない事由で解体期限の延長を必要とする場合、予め延長理由を付した書面及び延長を必要とする根拠資料を提出し、売主の承認を得なければいけません。
- (3) 解体条件付きの建物等とは、解体撤去の対象となる建物とそれに付随する設備、備品、工作物、浄化槽、給排水設備、植栽、建物基礎杭、その他の埋設物並びに残置物の一切を含めます。
- (4) 解体条件付き建物等の解体及び撤去に要する全ての費用は、買受人の負担です。
- (5) 買受人は、解体条件付き建物等の解体撤去工事前に、解体工事施工計画書を提出する必要があります。
- (6) 買受人は、解体条件付き建物等の解体及び撤去並びに廃棄物の処理等においては、関係法令を遵守するとともに、当該建物等の解体及び建物に伴い、第三者から苦情又は異議申立てがあったときは、買受人の責任において解決するものとします。また、当該建物等の管理及び解体撤去に伴い第三者に危害又は損害を与えた場合は、買受人がその責めを負うものとします。
- (7) 買受人は、解体条件付き建物等の解体及び撤去に伴い、官公署との協議、法令上の届出等が必要なときは、買受人の責任において行うものとします。
- (8) 買受人は、解体条件付き建物等の解体及び撤去並びに廃棄物の処理が完了後、速やかに買主に解体撤去の完了を書面により報告し、買受人と売主は、現地立会の上で、解体撤去の完了を確認する義務を負います。
- (9) 買受人は、解体条件付き建物等の解体及び撤去に関し、この物件説明書に定めのない事項については、売主の指示に従わなければいけません。

14【危険負担】

この売買物件に係る契約締結の日から売買物件の引き渡しの日までにおいて、三原市の責めに帰さない事由により、売買物件の滅失、毀損等が生じたときは、その損害は、買受人の負担となります。

15【建物等の管理責任及び使用・収益権の制限】

- (1) 売却する土地及び解体条件付きの建物等の管理責任及び第三者へ被害・損害等を与えた時の賠償責任、その他一切の責任は、所有権移転の日から買受人に帰属するものとします。
- (2) 買受人は、解体条件付き建物等の管理又は解体・撤去に必要な範囲を超えて、当該建物等に使用し、若しくは第三者に使用させてははいけません。なお、当該建物等に関し、質権、使用貸借による権利又は賃借

権その他の使用及び収益を目的とする権利を設定することはできません。

16 【土地の権利譲渡の制限】

買受人は、解体条件付き建物等の解体及び撤去の完了が完了するまでは、土地を第三者に譲渡することはできません。

17 【契約不適合責任】

買受人は、売買契約を締結した後に、土地及び解体条件付き建物等の品質又は数量に関して、この契約の内容に適合しない状態があることを発見しても、売買代金の減免、履行の追完及び損害賠償の請求並びに契約の解除をすることはできません。

18 【解体条件付き建物等の図面】

解体条件付き建物等の図面は、別紙の図面等（財産管理課ホームページ掲載）を参照してください。図面上の建物面積と、三原市が公表する建物面積は異なります。なお、図面と現況は異なる可能性がありますので、あくまでも参考資料であることをご了承の上、売買契約を締結してください。

19 【電柱について】

売買物件の土地敷地内に設置してある電柱は、西日本電信電話(株)が三原市との土地賃貸借契約に基づく占有をしており、買受人はその電柱設置にかかる権利義務を承継するものとします。なお、解体条件付き建物等の解体撤去時に電柱が支障となる場合は、買受人の責務で西日本電信電話(株)と移設又は撤去の協議を行い、電柱を移設又は撤去してください。

| 路線名 | 電柱番号 | 種別内訳 | | | | | |
|---------|------|------|----|----|-----|-----|----|
| | | 本柱 | 支線 | 支柱 | 支線柱 | 引込柱 | 備考 |
| 帝人南(一)幹 | 5R1号 | 1 | 2 | | | | |
| 帝人南(一)幹 | 5R2号 | 1 | 2 | | | | |
| 帝人南(一)幹 | 5R3号 | 1 | | | | | |
| 帝人南(一)幹 | 5R4号 | 1 | 1 | | | | |
| 帝人南(一)幹 | 6号 | 1 | 1 | | | | |
| 帝人南(一)幹 | 5R5号 | 1 | 1 | | | | |

20 【費用について】

取得に要する費用として、土地売買代金のほか、契約の締結に要する費用として収入印紙及び所有権移転登記に要する費用として登録免許税が掛かります。また、取得後は固定資産税、都市計画税、不動産取得税が別途必要となります。

全部事項証明書（写し）

公用

広島県三原市宮沖5丁目679-2

全部事項証明書

(土地)

| | | | | | |
|-------------|--------------------|--------------------|------------|---------------------------------------------|------------------------------|
| 表題部 (土地の表示) | | 調製 | 平成4年12月10日 | 不動産番号 | 2434000069946 |
| 地図番号 | [余白] | 筆界特定 | [余白] | | |
| 所在 | 三原市宮沖町 三原市宮沖五丁目 | | | [余白] | 平成9年10月27日変更 平成9年10月27日登記 |
| ①地番 | ②地目 | ③地積 m ² | | 原因及びその日付〔登記の日付〕 | |
| 679番2 | 宅地 | 3636.36 | | [余白] | |
| [余白] | [余白] | [余白] | | 昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項の規定により移記 平成4年12月10日 | |
| [余白] | [余白] | 3415.52 | | ③錯誤 ③679番2、679番47に分筆 〔令和4年4月6日〕 | |

| 権利部 (甲区) (所有権に関する事項) | | | |
|----------------------|-------|----------------------|---------------------------------------------|
| 順位番号 | 登記の目的 | 受付年月日・受付番号 | 権利者その他の事項 |
| 1 | 所有権移転 | 昭和53年5月31日 第6953号 | 原因 昭和53年5月31日売買 所有者 三原市 順位1番の登記を移記 |
| | [余白] | [余白] | 昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項の規定により移記 平成4年12月10日 |



これは登記記録に登録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に登録されている事項はない。

令和4年4月12日
広島法務局尾道支局

登記官

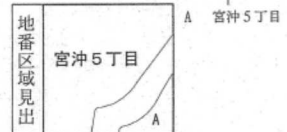
河本 将 男



公 図 (写 し)



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



| | | | | | | | |
|-------|------|-----------|------------|----|----------|----|-----------|
| 請求部 | 所在 | 三原市宮沖五丁目 | | 地番 | 679番2 | | |
| 出力縮尺 | 縮尺不明 | 精度区分 | 座標系番号又は記号 | 分類 | 地図に準ずる図面 | 種類 | 旧土地台帳附属地図 |
| 作成年月日 | | 備付年月日(原図) | 昭和25年7月31日 | | 補記事項 | | |

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和4年4月12日
 広島法務局尾道支局
 請求番号：16-1
 (1/1)
 登記官

河本将男



公用

測量図 (写し)

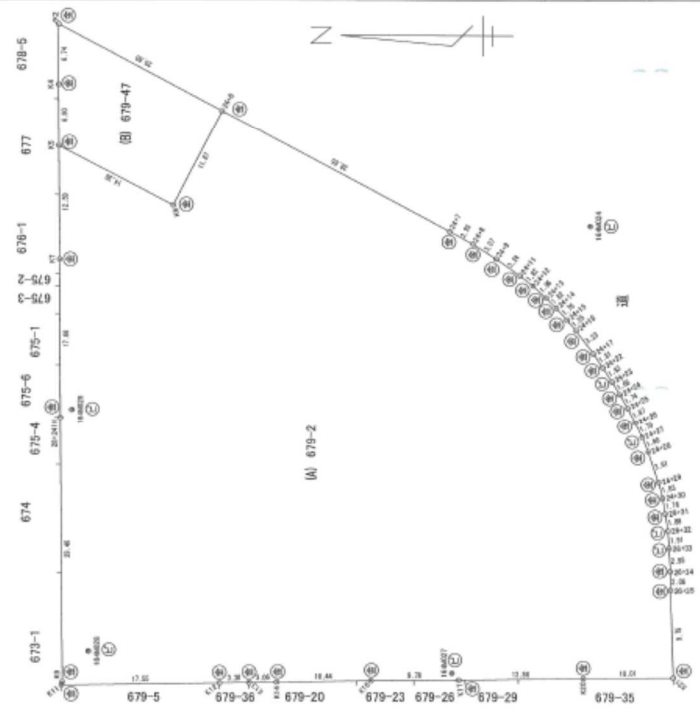
土地所在図 地積測量図

地番 679-2, 679-47
土地の所在 三原市宮沖五丁目

求積表

| 場番 | (A) 679-2 | X | Y | X _n X | Y _n Y | X _n Y - Y _n X | 距離 |
|-------|-----------|-------------|-----------|------------------|------------------|-------------------------------------|----------------|
| K5 | 新設基礎 | -178062.661 | 33619.721 | 1070868.843264 | 12.59 | | |
| K7 | 新設基礎 | -178062.768 | 33617.122 | 5888536.486216 | 17.86 | | |
| K8 | 新設基礎 | -178062.854 | 33489.409 | 5391566.20458 | 29.46 | | |
| K9 | 新設基礎 | -178063.040 | 33459.995 | 5302536.288160 | 0.33 | | |
| K11 | 新設基礎 | -178062.940 | 33459.680 | 10506.713460 | 17.85 | | |
| K12 | 新設基礎 | -178060.491 | 33459.938 | -54136.469264 | 3.30 | | |
| K13 | 新設基礎 | -178063.794 | 33459.984 | -16500.425264 | 3.06 | | |
| K14 | 新設基礎 | -178066.862 | 33460.022 | -37932.401904 | 10.44 | | |
| K16 | 新設基礎 | -178067.302 | 33460.197 | -41852.665720 | 9.78 | | |
| K17 | 新設基礎 | -178107.085 | 33460.262 | -49869.603000 | 13.86 | | |
| K20 | 新設基礎 | -178120.943 | 33460.477 | -51833.194413 | 10.01 | | |
| K21 | 新設基礎 | -178130.935 | 33460.583 | -1749760.370964 | 9.79 | | |
| 24*15 | 新設基礎 | -178130.662 | 33470.300 | -2103723.118220 | 2.06 | | |
| 24*16 | 新設基礎 | -178130.615 | 33472.303 | -821536.286380 | 2.55 | | |
| 24*33 | 新設基礎 | -178130.500 | 33474.912 | -784996.421500 | 1.91 | | |
| 24*32 | 新設基礎 | -178130.357 | 33476.826 | -673332.348460 | 1.88 | | |
| 24*31 | 新設基礎 | -178130.077 | 33478.892 | -642156.527685 | 1.76 | | |
| 24*35 | 新設基礎 | -178129.793 | 33480.431 | -625768.527679 | 1.83 | | |
| 24*19 | 新設基礎 | -178129.320 | 33482.205 | -926450.293320 | 3.61 | | |
| 24*18 | 新設基礎 | -178128.182 | 33485.632 | -908809.584564 | 1.80 | | |
| 24*27 | 新設基礎 | -178127.803 | 33487.307 | -587998.887403 | 1.79 | | |
| 24*26 | 新設基礎 | -178126.747 | 33488.933 | -587100.358112 | 1.87 | | |
| 24*25 | 新設基礎 | -178125.801 | 33490.603 | -567509.320586 | 1.74 | | |
| 24*24 | 新設基礎 | -178125.038 | 33492.119 | -526537.612326 | 1.66 | | |
| 24*23 | 新設基礎 | -178124.160 | 33493.559 | -546306.799720 | 1.83 | | |
| 24*22 | 新設基礎 | -178123.120 | 33495.186 | -565415.681200 | 1.81 | | |
| 24*17 | 新設基礎 | -178122.118 | 33496.484 | -729444.439564 | 3.23 | | |
| 24*15 | 新設基礎 | -178120.182 | 33498.284 | -672681.807232 | 1.55 | | |
| 24*14 | 新設基礎 | -178119.181 | 33500.470 | -445119.833319 | 1.76 | | |
| 24*13 | 新設基礎 | -178118.000 | 33501.763 | -439538.968000 | 1.62 | | |
| 24*12 | 新設基礎 | -178116.856 | 33502.936 | -440482.864688 | 1.68 | | |
| 24*11 | 新設基礎 | -178115.404 | 33504.256 | -433711.008740 | 1.82 | | |
| 24*10 | 新設基礎 | -178113.961 | 33505.371 | -530067.347936 | 3.24 | | |
| 24*9 | 新設基礎 | -178111.306 | 33507.232 | -624992.672764 | 3.07 | | |
| 24*8 | 新設基礎 | -178108.711 | 33508.880 | -540738.046596 | 2.83 | | |
| 24*7 | 新設基礎 | -178106.128 | 33510.268 | -263795.843424 | 28.45 | | |
| 24*6 | 新設基礎 | -178080.815 | 33523.688 | -510735.777480 | 31.87 | | |
| 18 | 新設基礎 | -178078.360 | 33513.136 | 706424.153120 | 34.30 | | |
| | 地面積 | | | -6631.064634 | | | |
| | 面積 | | | 3415.5272670 | | | |
| | 面積 | | | 3415.52 | | | m ² |

境界線種別 ⑤:石杭 ⑥:プラスチック杭 ⑦:コンクリート杭 ⑧:高麗棒 ⑨:鉄線 ⑩:銅糸 ()
 作成者 公設社団法人 広島県公共職労協会 三原市宮沖二丁目9番11号 三原市宮沖二丁目11番14号
 土地家屋調査士 廣政孝生 二田繁己
 (令和4年4月2日作成)



測量年月日 令和4年3月21日
 原簿番 直共
 縮尺 1/500

報告者 三原市長 阿田吉弘